

あなたらしさが、社会のチカラ

タイトルは、令和8年男女共同参画週間（毎年6月23日～29日）におけるキャッチフレーズです。内閣府がこども家庭庁の「こども若者★いけんぶらす」を活用し、中学生から20代の方々と一緒に考え、決定されました。

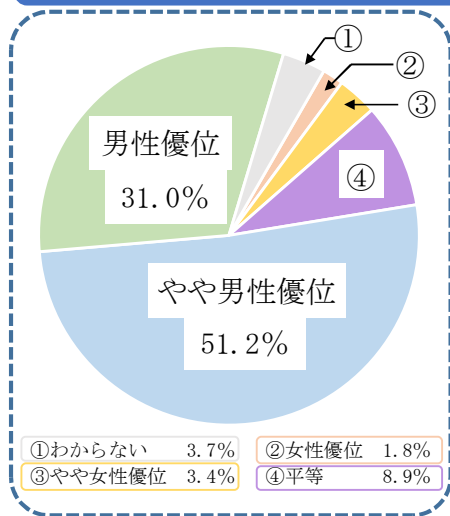


今の社会の男女平等を
どのように感じているのでしょうか？



まずは現状を知ることから、「あなたらしさ」が尊重される社会を考えてみませんか。男女平等に関する意識について市公式LINEでアンケートを実施し、考えが近いものを回答してもらいました。【実施期間：5月19日～6月30日】

「社会全体」の項目では、「男性優位」と「やや男性優位」をあわせた『男性の方が優位』と感じる方の割合が **82.2%**と最も高くなりました。



青森県が調査した令和7年度「男女共同参画に関する意識調査報告書」の結果※1では『男性の方が優位』の割合が **74.4%**のため、青森県と比較すると **7.8%**も高いことが分かります。「平等」と感じている方の割合について、青森県の **12.2%**と比較すると、五所川原市はまだ少ないことが分かります。一方、「学校教育の場」や「自治会やNPO、ボランティアなど地域活動の場」の項目では、五所川原市で「平等」と感じる方の割合がそれぞれ **44.5%**、**36.8%**と最も高くなりました。

皆さんはこの結果を見てどのようなことを感じましたか？他7項目について五所川原市の詳細

な結果を市のHPに公開しています。ぜひご覧ください。→



アンケートは326名の方にご回答いただきました。ご協力いただきありがとうございます。

※1 青森県の調査結果は
こちらから確認できます。



あなたらしさを発揮できる社会を目指して

それぞれがらしさを発揮するためには、相手の価値観を尊重する、無意識の思い込みに気付く、「こうあるべき」を見直す、など性別による固定観念にとらわれず、一人ひとりが自分の価値観を大切にできる社会を作ることが重要です。

例の一つとして、性別による健康課題について考えてみましょう。

女性特有

月経 更年期 婦人科
随伴症 障害 がん



男女双方

不妊
治療



男性特有

前立腺 更年期
がん 障害



これらにより、心身に不調が現れることがあります。

健康課題による経済損失！？

経済産業省によると、女性の健康課題による経済損失は**約3.4兆円**、男性の健康課題による経済損失は**約1.5兆円**と試算※2されています。

※2 経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について（令和6年2月）」

周囲の知識が不足していると、困りごとを相談しにくくなってしまい、より家庭や仕事へ影響が出てしまうことが考えられます。

女性の健康課題の解決方法として、「フェムテック※3」が注目されています。

※3 女性特有の悩みを先進技術で支える製品やサービスのことです。

QOLを向上するための月経周期管理アプリや骨盤底筋トレーニング・活性化製品などがあり、健康と向き合いやすくなり、より快適に、自分らしく過ごすためのサポートとして注目されています。家庭や職場で理解を進めていきましょう。

この情報紙は市民からの公募による編集委員によって作成されています。女性（Female）と男性（Male）がともに支え合い、対等な立場で社会（Society）を形成することを願って！

2026年（令和8年）8月25日発行
ふるさと未来戦略課男女共同参画室（内線2238）

さんかくの感想はこちらから →



編集後記

市公式LINEアンケートは10代～30代の回答が少数でした。若い世代を中心にアンケートの実施ができる機会を考えたいですね。年代による意識結果を把握して、より個々のチカラを発揮できる社会にしたいと思います。（T委員）